

2025(令和7)年度
大阪教区「御同朋の社会をめざす運動」(実践運動)
事業報告

1. 教区委員会《全2回開催》

第1回：4月21日(月) 出席委員：33人

第2回：2月3日(火) 出席委員：37人

◇対象：教区委員会委員

2. 常任委員会《全5回開催》

第1回：5月16日(金) 出席委員：14人

第2回：9月3日(水) 出席委員：13人

第3回：12月8日(月) 出席委員：13人

第4回：1月23日(金) 出席委員：11人

第5回：3月16日(月) 出席委員：12人

◇対象：教区委員会正副委員長・常任委員

3. 組織事業検討小委員会《全2回開催》

第1回：7月8日(火) 出席委員：8人

第2回：8月28日(木) 出席委員：7人

◇対象：教区委員会正副委員長・各部会部長

4. 組長・組委員長実践運動推進協議会 並びに 実践運動推進講師連絡協議会

期 日：6月5日(木) 出席者：53人

研修テーマ：「あいつぐ過去帳開示事件 ～何が問われているのか?～」

講 師：神戸 修さん(人権社会部会 部長)

◇対象：組長・組委員長・実践運動推進講師・教区委員会正副委員長・常任委員

5. 実践運動推進研修会

期 日：4月21日(月) 出席者：32人

テ マ：「あいつぐ過去帳開示事件 ～何が問われているのか?～」

講 師：神戸 修さん(人権社会部会 部長)

◇対象：教区委員会委員・教化団体役員

6. 実践運動現地研修会

期 日：2月9日(月)～10日(火)(1泊2日)

参 加 者：16人

行 き 先：台湾（高雄市 戦争と和平記念公園・逍遙園 など）

◇対象：教区委員会委員・教化団体役員

7. 組重点プロジェクトリーダー協議会

期 日：12月16日(火) 出 席 者：28人

講 題：「子ども支援におけるお寺の可能性

～北御堂フードパントリーから得た元社協職員の気づき～」

講 師：中納 宏之さん（社会福祉士、元 社会福祉協議会 職員）

活動事例紹介：河中南組、東成組

◇対象：組重点プロジェクトリーダー・サブリーダー

8. 門徒推進員連絡協議会

【役員会】 第1回：4月4日(金) 出席役員：8人

第2回：6月3日(火) 出席役員：8人

第3回：8月7日(木) 出席役員：7人

第4回：1月27日(火) 出席役員：6人 <<全4回開催>>

【第1回 門徒推進員連絡協議会 1日研修会】

期 日：7月5日(土)

行 き 先：比叡山延暦寺

参 加 者：18人

【第2回 門徒推進員連絡協議会】

期 日：12月6日(土) 参 加 者：16人

講 題：「門徒としての日常を問い直す

～“あたりまえ”だったことが揺らぐ時代を守るべきもの～」

講 師：小林 顯英さん（大阪教区榎並組法栄寺）

9. 中央・連区行事等への参加

実践運動・組織教化団体並びに関係諸団体にかかる中央・連区、その他諸行事への参加

10. 実践運動推進協議会 《宗派策定事業》

「浄土真宗のみ教え」についてのご親教に学び、あらゆる人々が自他共に心豊かに生きることのできる社会の実現に向け、門信徒と僧侶が積極的に現実の課題と向き合い、協議することを目的とする

開催期間：2025(令和7)年度 [2026(令和8)年3月31日まで]

助成金：開催報告書提出組へ2万円交付

報告書提出組：17組 《30ページ参照》

11. 組重点プロジェクト推進助成金交付 《宗派策定事業》

「御同朋の社会をめざす運動」(実践運動)推進の一環として、組における重点プロジェクトの推進に資するため、各組が策定した実践目標の達成に向け活動を実施した組に対して助成金を交付するもの

開催期間：2025(令和7)年度 [2026(令和8)年3月31日まで]

助成金：開催報告書提出組へ2万円交付

報告書提出組：19組 《31ページ参照》

12. 教区実践運動推進講師招請にかかる助成金交付

「御同朋の社会をめざす運動」(実践運動)の推進にあたり、組における「実践運動」及び「重点プロジェクト」等に関する研修会へ大阪教区実践運動推進講師を招請して開催した組へ助成金を交付

開催期間：2025(令和7)年度 [2026(令和8)年3月31日まで]

助成金：開催報告書提出組へ5千円交付

報告書提出組：2組 《32ページ参照》

13. 「お米をひと握り（一合）持ち寄り」ほっとけ^{まい}米プロジェクト

日本国内の子どもの貧困率は13.9%であり、7人に1人が相対的貧困状態にあります（厚生労働省「平成28年国民生活基礎調査」より）。子どもの心身の成長にとって欠くことのできない食の提供のため、また安心して過ごすことのできる“居場所づくり”として、大阪府内には400以上もの「子ども食堂」が存在し、その多くは企業や個人からの支援により成り立っています。

すべての子どもが健康にいのちを育むことができる世の中の実現の一助として、子ども食堂等の施設に物資を支援する活動を、重点プロジェクトの取り組みとして各組に奨励

内 容：組内各寺院を通じて、門信徒や地域の人々より支援米（1人1合）を募り、組で取りまとめて地域の各施設や団体へ寄贈

支援先：各地域の子ども食堂・こども食堂ネットワーク関西等（各組にて選定）

備考：教区ホームページにて情報発信。チラシ等のデータダウンロード可

報告書提出組：1組《島上南組》

14. バースデーケーキプレゼント・プロジェクト

児童養護施設の子どもたちにバースデーケーキプレゼントをする活動。誕生日会は、「人生儀礼」の一つとして、大切ないのちの成長をお祝いする会であり、施設で生活する子どもたちに「生まれてきてよかった」と思い笑顔になってもらえるように支援する

支 援 先：児童養護施設 西本願寺常照園

支 援 者：趣旨に賛同いただける方（個人、グループ、寺院、教化団体、組など）

支援金額：1口 4,000円×96口（2口で誕生日ケーキ1ホール分）

支援状況：48人分 <2025(令和7)年度入所児童人数分>

15. 渉 外

(1) (一財) 同和教育振興会会員登録

教区内のみなさまに、本願寺同朋センターを有効にご利用いただけるよう、大阪教区として引き続き会員登録

(2) 近畿同朋運動推進協議会（近同推）への参画・情報交換

(3) 同和問題にとりくむ大阪宗教者連絡会議（大宗連）への参画

16. 各部事業報告

■連研部会

【部会開催期日】	第1回：7月29日(火)	出席部会委員：10人
	第2回：10月16日(木)	出席部会委員：10人
	第3回：12月12日(金)	出席部会委員：8人
	第4回：2月16日(月)	出席部会委員：8人

(1) 組連研スタッフ育成研修会

目 的：組連研を開催するうえで、中心となって企画・運営を担う組スタッフを育成する

会 場：本願寺津村別院 津村ホールほか

開催期間：2024(令和6)年度～2025(令和7)年度〔2ヵ年度（全6回）〕

受講者数：16人

≪第4回≫ 期 日：4月24日(木)

テ マ：「差別 ～御同朋の社会とは～」

形 態：講義、話し合い法座

講 師：藤本 文隆さん（連研中央講師、奈良教区添下組西教寺）

≪第5回≫ 期 日：5月27日(火)

テ マ：「“念仏者の生き方” から学ぶ」

形 態：講義、話し合い法座

講 師：花岡 静人さん（研修講師、奈良教区吉野東組勝光寺）

《第6回》 期 日：6月25日(水)

テ ー マ：「連研をはじめましょう」

形 態：講義、話し合い法座

講 師：野村 康治さん（研修講師、大阪教区中島東組瑞松寺）

(2) 門徒推進員活動活性化に向けた協議会

趣 旨：門徒推進員活動活性化に向け、協議を行う

期 日：2月16日(月)

参加者数：門徒推進員連絡協議会役員 6人（※重複1人）

連研部会委員 8人

(3) 連研（門徒推進員養成連続研修会）開催 《宗派策定事業》

連研実施組拡大を目的として修了報告に基づき、教区として每期6万円の助成金を交付する

修 了 組：茨田組（第4期）

実 施 中：石川南組（第6期）、河中北組（第10期）、南郡組（第11期）

(4) 中央教修奨励事業 <出向>

趣 旨：連研開催組における組連研履修者に対して、中央教修の紹介や参加奨励を行うため、教区委員および門徒推進員を派遣

《第1回》 期 日：9月16日(火) 出 向 先：茨田組

出 向 者：連研部会委員2人、事務局2人

《第2回》 期 日：3月14日(土) 出 向 先：河中北組

出 向 者：連研部会委員2人、事務局1人

■教学部会

【部会開催期日】 第1回：10月28日(火) 出席部会委員：7人

第2回：3月12日(木) 出席部会委員：8人

(1) 教学講座

門信徒・僧侶を問わず、お聖教を通じて教学に対する学びを深めることを目的に開催する

《Aコース》 テーマ：『浄土三部経』～仏説無量寿経のころ～

講 師：＜第1回～第3回＞ 森田 眞円さん（本願寺派勸学・京都女子大学名誉教授）
＜第4回～第6回＞ 玉木 興慈さん（龍谷大学副学長・教授）

受 講 者：57人

- 第1回：7月2日(水) 『浄土三部経』～概 論～「三部経ってどんなお経かな」
第2回：9月4日(木) 『仏説無量寿経』～その1～「この世に出られたお釈迦さまの本懐」
第3回：10月2日(木) 『仏説無量寿経』～その2～「阿弥陀さまの願い」
第4回：12月5日(金) 『浄土三部経』～仏説無量寿経のころ～
「正宗分・本願成就文について」
第5回：1月19日(月) 『浄土三部経』～仏説無量寿経のころ～
「正宗分・三毒五悪段と胎化得失について」
第6回：2月20日(金) 『浄土三部経』～仏説無量寿経のころ～「流通分について」

《Bコース》 テーマ：ご本典（教行信証）のころ

講 師：佐々木 義英さん（浄土真宗本願寺派総合研究所所長・本願寺派司教）

受 講 者：45人

- 第1回：7月24日(木) 「聖教の定義・浄土真宗の大綱①」
第2回：9月18日(木) 「浄土真宗の大綱②・教文類の概要」
第3回：11月28日(金) 「行文類の概要」
第4回：12月23日(火) 「信文類の概要」
第5回：1月29日(木) 「証文類の概要」
第6回：3月13日(金) 「真仏土文類の概要」

■広報部会

【部会開催期日】	第1回：5月2日(金)	出席部会委員：12人
	第2回：7月18日(金)	出席部会委員：12人
	第3回：9月17日(水)	出席部会委員：8人
	第4回：12月24日(水)	出席部会委員：10人
	第5回：2月9日(月)	出席部会委員：10人

(1) 教区新報

教区の広報紙として、実践運動や組織教化団体の活動状況並びに推進啓発、その他教区内の活動報告や宗務連絡など、情報提供していくことを目的に発行

4月号…まちかど探検シリーズ⑪：高槻をめぐる

5・6月号…教区予算書

7月号…大阪教区ダーナ活動60年の歩み

- 8月号…まちかど探検シリーズ⑫：大阪・関西万博について
 9月号…アンケート結果報告「大阪教区寺院の現状と課題」前編
 10月号…教区決算書
 11月号…アンケート結果報告「大阪教区寺院の現状と課題」後編
 12月号…実践運動座談会「実践運動の軌跡と未来」前編
 1月号…実践運動座談会「実践運動の軌跡と未来」後編
 2月号…AIと寺院
 3月号…まちかど探検シリーズ⑬ 箕面をめぐる

(2) 組情報ネットワーク通信員

各組の活動や情報を積極的に収集し、教区新報を通じて広く周知し、各組各寺院の活性化を図る。各組の情報収集のため取材協力者として情報ネットワーク通信員を委嘱する

(3) ホームページ維持管理

教区の事業を広報するとともに教材資料や各種書式をホームページ上で提供し、寺院運営の活用に資する

(4) 教区 SNS

教区事業広報に資するため SNS (Social Networking Service) をする (LINE 公式)

登 録 者：527人 <2026(令和8)年3月現在>

※「教区一斉配信メール」は2026(令和8)年3月31日をもって運用停止

■人権社会部会

【部会開催期日】	第1回：5月26日(月)	出席部会委員：9人
	第2回：7月22日(火)	出席部会委員：8人
	第3回：10月29日(水)	出席部会委員：6人
	第4回：12月3日(水)	出席部会委員：9人
	第5回：2月27日(金)	出席部会委員：7人

(1) 「御同朋の社会をめざす運動」(実践運動) 人権啓発推進僧侶研修会<宗派策定事業>

目 的：宗門における人権・差別問題を、教区・組の取り組みを通して学びを深め、僧侶としての課題に繋げ、『宗制』に掲げる「自他共に心豊かに生きることのできる社会」の実現をめざし、具体的な取り組みを実践することを目的に開催する

開催期間：2025(令和7)年度 [2026(令和8)年3月31日まで]

助 成 金：開催報告書提出組へ3万円交付

提 出 組：26組 <29ページ参照>

(2) 基礎から学ぶ同朋講座

趣 旨：過去にどのような事件（差別）があり、先人たちはそれにどう取り組んだか。
現在の差別はどのような特徴を持っているのか。そして残された課題は何か、な
どについて学ぶ場として開催する

テ ー マ：「差別・被差別からの解放」

対 象：教区内僧侶・寺族・門信徒

受 講 者：35人（修了者11人）

- ≪第1回≫ 期 日：9月11日(木)
講 題：「本願寺教団の差別事件からみる教団の歴史」
講 師：岩本 智依さん（一般財団法人同和教育振興会常務理事、奈良教区）
- ≪第2回≫ 期 日：10月7日(火) ≪現地研修会①・フィールドワーク（羽曳野市）≫
講 題：「向野地区～出身者以外の人とも一緒にできる運動をたいせつに～」
講 師：粂山 彩さん（向野まちづくり協議会事務局）
- ≪第3回≫ 期 日：11月25日(火)
講 題：「ジェンダー平等を推進するために」
講 師：岩田 真美さん（大阪大谷大学教授、浄土真宗本願寺派ジェンダー
平等推進委員会副委員長）
- ≪第4回≫ 期 日：12月19日(金)
講 題：「狭山事件から考える部落問題」
講 師：森 実さん（大阪教育大学名誉教授）
- ≪第5回≫ 期 日：1月21日(水)
講 題：「在留外国人の現状と日本社会～多文化共生と格差克服に向けて～」
講 師：金 光敏さん（大阪常磐会大学講師、社会教育士）
- ≪第6回≫ 期 日：2月17日(火) ≪現地研修会②・フィールドワーク（大阪城、ピースおおさか）≫
講 題：「戦争の傷跡をめぐる」
講 師：大阪観光ボランティアガイド協会

(3) 人権啓発推進教材

目 的：「人権啓発推進僧侶研修会」における資料としての活用を想定し、組への貸出用に教材を作成

内 容：

(1) 性差別「ジェンダー平等の推進に向けて」〔26分41秒〕

講 師：野村 康治さん（元男女共同参画を考える委員会委員、一般財団法人同和教育振興会講師団講師）

(2) 民族差別「日本と朝鮮半島のきのう、きょう、あす」

講 師：金 光敏さん（大阪常磐会大学講師、社会教育士）

媒 体：光ディスク版（DVD/Blu-ray）

■寺院活動推進部会

【部会開催期日】

- | | |
|---------------|------------------------|
| 第1回：4月18日(金) | 出席部会委員：9人（兼学習会） |
| 第2回：5月21日(水) | 出席部会委員：7人（ピースおおさか資料見学） |
| 第3回：6月13日(金) | 出席部会委員：9人 |
| 第4回：7月14日(月) | 出席部会委員：3人（南御堂資料確認） |
| 第5回：7月25日(金) | 出席部会委員：10人 |
| 第6回：9月10日(水) | 出席部会委員：8人 |
| 第7回：12月18日(木) | 出席部会委員：8人 |

(1) 「非戦・平和」への取り組み

趣 旨：戦後80年という節目にあたり、改めて歴史を振り返り、「教団と戦争」をテーマに学習し、非戦・平和を考える取り組みとしてパネル展等を開催

テ ー マ：「戦後80年 今を生きる未来へつなぐ ～非戦・平和パネル展～」

期 間：11月10日(月)～16日(日)

展示場所：本願寺津村別院 1階通路沿い

展示構成：(1) 大東亜共栄圏・本願寺教団の海外開教

(2) 本願寺教団の戦争協力（戦時教学など）

(3) 大阪大空襲

展 示 数：120点